

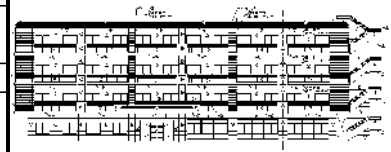
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPVBE対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム(仮称)座間太陽の家 新築工事	階数	地上4F
建設地	座間市座間2丁目868番1外	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	150人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年8月4日
敷地面積	5,630 m ²	作成者	(株)アップルス総合企画
建築面積	1,767 m ²	確認日	2014年8月7日
延床面積	5,010 m ²	確認者	(株)アップルス総合企画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参考値

建築物の取組み

上記+ 以外の

上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参考値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・自然エネルギーの採用、省エネに高いレベルで取り組んでいる。 ・室内環境、敷地内外環境への配慮を行っている。		その他 0
Q1 室内環境 ・開口部遮音性T-2と遮音性に十分な配慮をしている。 ・使用建材はFを使用しており、空気質汚染の回避に努めている。 ・自然換気性能に優れている。	Q2 サービス性能 ・病室の広さ感に配慮している。 ・維持管理に配慮した設計を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) ・50%を超える外構緑化指数を確保している。 ・屋上庭園の設置。
LR1 エネルギー ・太陽光発電設備の設置、高効率設備機器の設置など建物の省エネルギー性に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓に節水コマ、節水型を採用しており、かつ節水型便器の採用など、節水に努めている。 ・OAフロアを採用する事で、建物のリサイクル対策を行っている。 ・防水工事のプライマー採用で室内外の空気質環境に配慮。	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率が84%と、地球温暖化への配慮を行っている。 ・LCCO ₂ 排出率が84%と、地球温暖化への配慮を行っている。 ・駐車スペース73台、消防用空地の確保、出入口2カ所設置。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される